

# ぎふ感染症かわら版

平成 28 年 9 月 23 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



## 9 月 24 日～30 日は結核予防週間です！

### 知ってますか？「結核」が現代の病気だってコト

日本では、1日に**50人**、年間**18,000人**が新たに発症し、**2,000人**の方が亡くなっています。  
「結核」は今でも私達の身近にある病気です。**2週間以上**、咳やたんが続く場合は早めの受診を。

#### 国内の結核（2015年）

結核新規登録患者数 <small>（新たに結核と診断された患者）</small>	<b>18,280人</b> <small>（岐阜県 314人）</small>	罹患率	<b>14.4</b> <small>（岐阜県 15.4）</small>
結核死亡数（概数）	<b>1,955人</b>	死亡率	<b>1.6</b> <small>（岐阜県 1.5）</small>

※率は人口10万人あたり

県内では  
1年間に300人以上が  
結核を発症しています



### どんな病気？

結核菌が体の中に入り、増えることによって起こる病気です。  
主に肺の内部で増えますが（肺結核）、腎臓、腸など肺以外の臓器で増えることもあります。  
**肺結核の場合、咳、たん、発熱など、かぜに似た症状が長く続きます。**  
発病しても、服薬による治療で完治します。

### どう感染するの？

患者のたんに含まれる結核菌が、咳やくしゃみで拡散し、**空気感染**します。  
結核菌を吸い込んだ人のうち、1～2割の人が約2年以内に発病します。  
その他の人は、免疫の働きによって結核菌は体内で冬眠状態に入りますが、  
体の免疫力が弱まると冬眠状態の結核菌が再び活動を始め、発病することがあります。

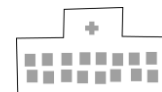
### 予防のために大切なこと

- **2週間以上、咳やたんが続くときは、医療機関を受診しましょう**

早期発見は、本人の重症化を防ぎ、周りへの感染拡大を防ぐために重要です。  
高齢の方が、倦怠感が続いたり、急にやせてきたりした時も早めの受診を。



- **学校や職場、地域の定期健診をきちんと受けましょう**



- **1歳までにBCG接種を受けましょう**

抵抗力の弱い赤ちゃんは、結核に感染すると重症になることがあります。  
予防のために、お住まいの市町村の案内に従って接種を受けましょう。



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。  
くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

